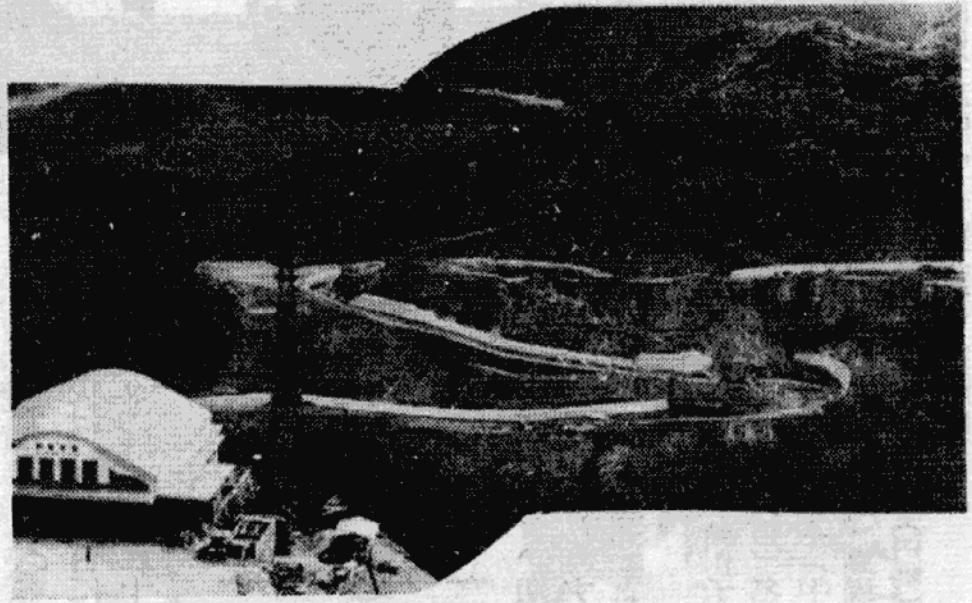


オリンピックを迎えて
紅葉シーズン

第二イロハ坂が仮開通



現在のイロハ坂は観光交通量の増加がいちじるしく、観光シーズンにはいると交通マヒ寸前におちいるという混雑ぶり。それに金精峠有料道路が開通するとやがては日光へ上信越を結ぶ中

心観光路にもなり、ますます交通量が増えてくることが予想され、早急な交通処理対策が望まれていました。
このようことから、道路公団による第二イロハ坂の建設

が進められていましたが、このほど新設工事がほぼ終り仮開通のはこびとなりました。
新設された道路は、現在のイロハ坂馬返ゲートから約二百メートル既設道路をのほり、これより大谷川を渡ってケーブル橋梁の下を通り、山腹をぬって明智平、中宮祠に至る延長九千五百二十二メートル、幅六、五メートルのもので、オリンピックや紅葉シーズンを迎え、道路を簡易舗装（防じん舗装）にして仮開通するものです。

仮開通は

ピーク時だけ

仮開通の時期は、10月中旬から11月10日までの一カ月間で、毎土、日、祭日の午前11時から午後2時ごろまでのピーク時だけイロハ坂を一方通行にして、登り通行だけに使用させることになっていきます。

〔写真 新設した第二イロハ坂の一部〕

田母沢→安良沢間の国道改修工事はじまる

花石町→安良沢地内都市計画事業

軌道を中心に

両側に八メートルずつ拡幅

二級国道日光沼田線は、日光橋を起点として群馬県沼田市までの区間をいいますが、県では激増する交通量に対処して全線にわたって改修計画をすすめています。

このほど引き続いて田母沢→安良沢間千三百三十四メートルの事業認定を県が受けましたので、昭和42年度完成を目標に、この

区間の改修工事が実施されますとありあえず、ことしは凶面のように田母沢から森島小児科医院までにわたって道路北側の用地買収、物件移転が行なわれます。道路の構造は、現在の軌道を中心として両側に八メートルずつ計十六メートルに拡幅されましたが、この区間の道路沿いの方は、軌道の中心から計れば、この事業に該当するかどうかの大体の目標はつかむことができます。

なお、次年度以降の実施予定区間内にあっても、事情により早めに道路用地を売渡したい方、物件の移転を希望される方、または、この事業内容についてご不審の方は、次の所へご照会ください。

- 事業主体 栃木県
- 連絡先 四軒町 栃木県日光土木事務所 工務第一課
- (電話) 411-599

私たちの町を未来に向かって大きく発展させるためには、このように道路の改修も行なわなければならないわけで、とくに地元の人達のこの事業に対する深い関心と協力が重要なこととは言うまでもないことです。県ではこの事業を円滑にすすめるために、皆さまの一層のご協力を望んでいます。

田母沢～安良沢地内
道路改良工事平面図

